

医学系研究科

●研究科の教育理念と教育目的

愛媛大学憲章および中期目標に沿って、さらに『患者に学び、患者に還元する教育・研究・医療』という医学部/医学研究科の開設の基本理念に沿って、教育目的を次のように定めています(愛媛大学大学院医学系研究科規則第3条)。

医学系研究科においては、学校教育法、愛媛大学大学院学則及び愛媛大学憲章を踏まえ、医学・看護学・医療に関する学術の理論及び応用を教授・研究し、豊かな人間性と学識を備えた人材を育成するとともに、医学・看護学・医療の発展に貢献することを目的としています。

医学専攻においては、医学・医療分野での幅広い専門的知識を備え、創造的研究が遂行できる研究者や、優れた研究能力と高度の専門的知識を備えた臨床医を育成し、そして研究成果を世界に向けて発信するとともに、地域における医学・医療の発展に貢献することを目的としています。

看護学専攻においては、看護学教育者、看護学研究者及び高度看護専門職者の育成を図るとともに、看護学の発展と地域医療に貢献することを目的としています。

●研究科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

医学系研究科では『患者に学び、患者に還元する教育・研究・医療』という医学部/医学研究科の開設の基本理念に沿って、教育目標(育成する人物像)を次のように掲げています。

医学専攻(博士課程、4年制)では:

1. 知識・理解

- 1-1) 専攻した医学・生命科学の領域に関して、深い専門的知識を有している。
- 1-2) 医学・医療と生命科学や環境科学との融合領域・学際領域の広い学識を有している。

2. 思考・判断

- 2-1) 自らの研究歴あるいは臨床経験に基づいて、一定期間に完遂可能な、新たな研究テーマを設定することができる。
- 2-2) 自らの研究テーマに基づいて、実験や調査の具体的かつ現実的な計画を立案することができる。

3. 興味・関心

- 3-1) 自らの研究の成果を、医学・生命科学のグローバルな展開あるいは地域医療の持続的な発展に生かそうとする積極性を有している。

4. 態度

4-1) 実験室や調査フィールドあるいは臨床の場における実践的な経験に基づいた、医学者としての研究者倫理を有している。

4-2) 自立した医学研究者として、学会での発表者および論文の著者としての責任感を有している。

5. 技能・表現

5-1) 自らの研究成果を客観的に分析し、目的と背景・研究方法・結果・考察、さらに今後の発展の可能性について口頭で発表し討議することができる。

5-2) 自らの研究成果について、国際的に通用する論文の形態で発表することができる。

看護学専攻(修士課程、2年制)では:

「健康・人間・社会・倫理」をキーワードに、教育者、研究者、高度臨床看護者として、社会的要請に応えられる専門知識、科学的根拠を得る研究能力、学術を伝える教育能力を持ち、高い倫理観の備わった看護学専門職者を育成する。

●研究科のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

医学系研究科の両専攻は、医学専攻が博士課程(修士課程を持たない)、看護学専攻が修士課程であり、両者の教育課程が大きく異なるため、専攻ごとにアドミッション・ポリシーを策定しています。